

伊勢崎線第37号踏切を迂回するための周辺道路等の整備経過

調査協力・足立区都市整備部

開通年月	開通した道路等の名称と、施設の概要	場所(北千住起点からの距離)	開通年月の出所
1968(昭43) 年3月	国道4号線・草加バイパス(東京と埼玉の都県境付近で東武伊勢崎線をオーバークロス) *片側2車線。歩道無	8K100M	橋桁の竣工銘板
1969(昭44) 年8月	都道環状7号線(西新井駅の北側で東武伊勢崎線をオーバークロス) *片側2車線。歩道と自転車用スロープ有、車いす用エレベーター無	4K475M	『東武鉄道百年史』 p.822
1971(昭46) 年12月	竹ノ塚跨線人道橋(歩道橋、区立第十四中学校で朝ラッシュ時の踏切待ちによる生徒の遅刻が多発し始めた対策として設置。東武鉄道は当時混雑を理由に、十四中生の駅構内自由通路の通り抜けを禁止していた) *自転車用スロープ有(当初は無、1986年ごろスロープ設置)、車いす用エレベーター無	6K180M	橋桁の竣工銘板、 足立区資料
1973(昭48) 年11月	栗原(くりはら)跨線人道橋(竹ノ塚検車区南端の引上線終端付近に、踏切廃止の代替として建設) *自転車用スロープ無、車いす用エレベーター無	5K280M	橋桁の竣工銘板
1974(昭49) 年10月	栗六(くりろく)陸橋(区道補助260号線) *片側1車線。歩道と自転車用スロープ有、車いす用エレベーター無	5K525M	橋桁の竣工銘板
1979(昭54) 年8月	東武伊勢崎線竹ノ塚駅北側～草加バイパス間の高架化完成により、区道補助262号線との立体交差化(踏切廃止)	7K250M	『東武鉄道百年史』資料編 p.406
1990(平2) 年3月	栗原立体交差地下道(区道補助258号線) *片側1車線。歩道と自転車用スロープ有、車いす用エレベーター無	5K035M	地下道西側の碑文
2006(平18) 年3月	伊勢崎線第37号踏切歩道橋(正式名称ではない) *自転車用スロープ有、車いす用エレベーター有	6K345M	

*「開通年月の出所」欄に「橋桁の竣工銘板」とあるものについては、実際の開通日が多少(工事完成から供用開始までの日数分)異なっている場合があります。

国土地理院発行の旧版地図のご案内

上表の道路整備状況の変遷については、国土地理院発行の旧版地図で確認できます。

旧版地図の閲覧(無料)・複写サービス(1枚500円、送料実費)の申し込み先

国土交通省国土地理院・関東地方測量部調査課

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-1-15 九段第2合同庁舎9階

電話 03-5213-2051(代表) 03-5213-2066(直通)

*竹ノ塚駅周辺が収録されている地形図で縮尺がもっとも小さいのは「2万5千分の1地形図・草加」(N1-54-25-2-3、東京2号-3)です。1万分の1地形図は発行開始が新しいため、年代によっては作成されていない場合があります。 以上